

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 千歳市立末広小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒066-0034

北海道千歳市富丘2丁目6番2号

E-mail es-suehiro.b@ed.city.chitose.hokkaido.jp

Website http://www.city.chitose.hokkaido.jp/ed/suehiro/

幼児児童生徒数 男子 284名 女子 241名 合計 525名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

1. アイヌ文化学習

本校のアイヌ文化学習では、「自然、命を大切に作る心、生き方を学ぶ」を目標としています。6年間を通して系統的に内容を計画し、児童はアイヌ文化を自然に受け入れ体験していくこととなります。講師であるアイヌの方や文化協会の方に教えて頂いて学んでいく中で、自然の一部である人間が、自然と共生しつつ持続可能な社会を作っていくことの大切さを学んだ。

2. ユネスコスクール活動の児童へのお知らせ

本校のユネスコスクールとしての取組内容を、5月の全校集会「なかよし集会」にて児童会書記局の児童がプレゼンをして紹介し、積極的菜活動を呼びかけました。

3. ECO (いいこ) ボランティア活動

愛キャップ (ペットボトルキャップ)、リングプル、古切手、書き損じハガキ、廃油、古着、使用済みわり箸をリサイクルのために回収します。回収の呼びかけは児童会が行い、年度末の軽量は各学年が分担します。2月の全校集会「なかよし集会」にて、市の社会福祉協議会への引き渡し式を行った。



① の写真 (キャプション)



② の写真 (キャプション)



③ の写真 (キャプション)



③ の写真 (キャプション)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

なし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学習指導要領との関連付け、総合的な学習の時間等を活用した課題解決型の学習過程を重視した教育課程を編成、実施

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学年の発達段階に応じた内容の検討を行い、小学校6年間を通して総合的な学習の時間等、約100時間の内容を教育課程に位置づけている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

年度末評価に加え、学校評議員にもこの活動について評価をしてもらっている。継続した取組を評価して頂いた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

活動の状況については、学校だより、ホームページ等で発信してきた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

なし

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

なし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校のアイヌ文化学習では、「自然、命を大切に作る心、生き方を学ぶ」を目標とし、6年間を通して系統的に内容を計画し、児童はアイヌ文化を自然に受け入れ体験している。自然の一部である人間が、自然と共生しつつ持続可能な社会を作っていくことの大切さを学んでいる。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

<内容>

- ・チセ探検、アイヌの歌（ウポポ）、遊び（チレクトトプ）、絵本の読み聞かせ
- ・アイヌの踊り（ホリッパ）、遊び（ク・アイ、カリプ）と遊び道具作り
- ・アイヌ語地名とくらし、サケ漁、サケの解体、アイヌのサケ料理
- ・アイヌの保存食、イナキビ、アハ栽培・収穫、イナキビ団子作り、また、学習の成果をまとめ市のサイエンス会議で発表
- ・シナノキの皮剥ぎ、シナノキの皮でひも作りと飾り作り、イナウ削り
- ・修学旅行先ポロトコタンで調べ学習、ムックリ作りと演奏、アイヌ民族の歴史の学習、アイヌ文様刺繍学習
- ・愛キャップ（ペットボトルキャップ）、リングプルをリサイクルのために回収